

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	IIDAブランド推進課	事業No.	352
事務事業名		会計	ケーブル特別会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H17	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			飯田市情報化基本計画	
	法令・例規等			飯田市有線テレビジョン放送施設条例、飯田市遠山郷有線テレビジョン放送施設条例	
事業目的	対象	竜東（下久堅、上久堅、千代、龍江）と遠山郷（上村、南信濃）の市民、事業所、公的施設			
	意図	地上波デジタル放送の難視聴を解消し、安心で快適な暮らしを送るとともに、行政と地域との情報の共有化を図る			

2 事業内容

2年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主番組制作及び放送 年間12本（延べ582回、238時間放送）</li> <li>・利用者がケーブルテレビを情報媒体として有効に活用し、安心して快適な暮らしができるよう維持管理を行いました。（受信障害に伴う復旧対応 24件）</li> <li>・竜東ケーブルテレビは平成17年から、遠山郷ケーブルテレビの一部は平成8年（旧南信濃村）から事業開始しており、設備の劣化に伴う故障、受信障害が増えています。</li> <li>・加入者数は減少傾向にあり、基盤整備に関係した機関（農林水産省・総務省・長野県）との協議を踏まえ、今後の事業の方向性について検討しました。</li> </ul>		委託料(加入者管理業務等)			34,888						
			使用料(センター使用料、電柱共架料等)			13,891						
			需用費(伝送路電気料、受信障害修繕等)			7,488						
			工事費(電柱・伝送路移設工事)			10,852						
			会計年度任用職員人件費			1,847						
			その他の経費			2,549						
			指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
			竜東ケーブルテレビ加入数(年度末)	件	1,480	1,416	1,420	1,369	1,370	1,288	1,300	1,193
			加入率：加入数/(世帯・事業所・公的施設)	%	43.0	41.9	42.0	40.8	41	38.6	39.0	35.8
受信障害発生による修繕対応			件	10	10	10	6	10	11	10	9	
遠山郷ケーブルテレビ加入数(年度末)	件	980	940	940	911	910	891	890	858			
加入率：加入数/(世帯・事業所・公的施設)	%	88.0	87.4	87.0	87.5	87.0	87.8	87.0	85.3			
受信障害発生による修繕対応	件	10	9	10	9	10	11	10	15			
2年度 決算 (千円)	予算額	79,497	特定財源内訳及び補正事項									
	決算額	71,515	(そ) 分担金 138千円									
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) ケーブルテレビ放送事業基金繰入金 3,000千円								
		県支出金	0	(そ) 諸収入(ケーブル移設補償金) 1,308千円								
		地方債	0	(そ) 諸収入(損害保険金) 2,572千円								
		その他	7,018									
一般財源	64,497											

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	17	1	1	1	1	3	1,873	1,847	会計年度任用職員人件費
2	17	1	1	1	10	1	53,027	47,776	竜東ケーブルテレビ維持管理費
3	17	1	1	1	11	1	24,597	21,892	遠山郷ケーブルテレビ維持管理費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> <li>・竜東地域は他の視聴方法への移行（減少数95件のうち70件、減少理由の74%相当）を主な原因とし、加入数が減少しています。遠山地区は転居等の理由（減少数33件のうち28件、減少理由の85%相当）により加入数が減少しています。</li> <li>・設備の劣化等による故障により、今後も受信障害の対応件数は増加が予想されます。加入者数が減少している課題と併せ、今後の事業の方向性を検討します。</li> </ul>							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の皆さんの身近な情報を提供し、親しみのある地域情報を発信します。</li> <li>・㈱飯田ケーブルテレビや保守委託業者との維持管理を継続し、故障等による受信障害への迅速な復旧対応に努めます。</li> <li>・加入者の減少、設備の劣化を踏まえ、民間サービスへの移行を含めた事業の方向性検討を継続します。</li> </ul>							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田市有線テレビジョン放送番組審議会の意見を踏まえ、魅力ある自主番組制作を継続します。</li> <li>・受信障害には、生産が中止され調達が困難な部品がある等の状況がありますが、在庫部品を使用し迅速に対応します。</li> <li>・利用実態や課題をもとに、今後の事業の方向性について検討を継続します。</li> </ul>							